

大腸用自動炭酸ガス送気装置

プロトCO2L



「プロトCO2L」は、医療用炭酸ガスの送気と送気量の管理を自動で行う装置であり、専用のディスポーザブルチューブである「プロトCO2L カテーテルセット」を用いて、肛門から炭酸ガスを注入して大腸を拡張します。

本製品は、腸で吸収されやすい炭酸ガスを使用することで、安定した大腸の拡張と患者様の苦痛の軽減を可能とし、大腸検査におけるCTコロノグラフィーの普及と大腸がんの早期発見に貢献することが期待されます。

炭酸ガスを用いた自動送気装置の特徴

1. 自動化された炭酸ガス送気装置

自動炭酸ガス送気装置は、手動と比較して、ばらつきがなく、検査時間が短縮できます。

2. 本邦初の大腸用自動炭酸ガス送気装置

CTコロノグラフィー用に日本で初めて医療機器として承認された、自動炭酸ガス送気装置です。

3. 安定した大腸の拡張性

自動炭酸ガス送気装置は、圧力を一定に保つことで、安定した大腸の拡張性を保持することが可能です。

4. 体内に吸収されやすい炭酸ガスを使用

炭酸ガスは、空気と比べて、迅速に体内に吸収されます。そのため、検査後の不快感を軽減します。

※エーディア株式会社ホームページ

大腸用自動炭酸ガス送気装置 プロト CO2L
の製品情報を引用しております。